

DENKA

2011年7月13日

電気化学工業株式会社

β サイアロン蛍光体(当社商品名:アロンブライト)が「井上春成(はるしげ)賞」受賞

このたび、独立行政法人物質・材料研究機構が研究し、当社が実用化した白色 LED 用 β サイアロン蛍光体が、第36回井上春成賞を受賞することとなりました。同賞の受賞は昭和58年第8回の「単結晶ほう化ランタン熱電子放射陰極」が受賞して以来の榮譽となります。

井上春成賞とは、大学や研究機関等の研究成果をもとにして、企業化した技術の中から、科学技術の進展に寄与し経済の発展、福祉の向上に貢献したものについて研究者及び企業を表彰するものです。

従来、液晶テレビのバックライトには冷陰極管 (CCFL) が用いられてきましたが、水銀を含む、温度特性が悪い、消費電力が大きい、高速点滅が出来ない等の欠点がありました。これらを解消し表示性能を改善するため、バックライトの LED 化が検討されてきました。しかしながら、携帯電話等で使用されている擬似白色 LED では表現できる色の範囲が狭いことから、大型液晶テレビにも使用できる青色 LED と緑色蛍光体、赤色蛍光体を組み合わせた高演色白色 LED の開発が待たれていました。その LED を作るために不可欠な、温度特性に優れた耐久性のある緑色蛍光体もまた必要とされてきました。(独)物質・材料研究機構は、エンジン部材や耐熱材料として研究されてきたサイアロンが、液晶バックライト用緑色蛍光体として優れた特性を持つことを発見し、当社はその発光特性向上と量産技術開発を進め、実用化されるに至りました。

バックライトへの LED の普及により、今後の β サイアロン蛍光体 (アロンブライト) の採用の拡大が期待されております。

賞の内容については、(独) 科学技術振興機構の[ホームページ](#)をご覧ください。

【本件に関する問い合わせ先】

電気化学工業株式会社 IR・広報室 03-5290-5511